

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
9	佐野 智昭（18）	<p>1. SDGsの進捗状況と今後の取組について</p> <p>SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年（平成27年）9月に開催された国連持続可能な開発サミットで、国連加盟国193か国の全会一致で採択された世界共通の目標であり、誰一人取り残されない持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指すものである。17のゴール、169のターゲット、232の指標で構成され、2016年（平成28年）から2030年（令和12年）までの15年間を対象期間としている。</p> <p>我が国においては、2016年（平成28年）5月にSDGs推進本部が設置され、同年12月には日本の取組の羅針盤とも言えるSDGs実施指針が決定され、日本の優先課題や地方自治体を含めた各主体の役割も示され、2019年（令和元年）12月に改訂されている。</p> <p>また2018年（平成30年）には、内閣府において、SDGsの達成に向けた取組を積極的に進める自治体を公募し、経済・社会・環境の三側面の統合的取組による新たな価値を創造する提案を行った自治体をSDGs未来都市として選定する制度が設けられた。そして、SDGs未来都市に選定された都市は、SDGs未来都市計画を策定することとされている。また、地方創生の文脈において、自治体がSDGsを推進していく上でのモデルとなり、先導的な取組となる事業を自治体SDGsモデル事業として選出し、補助金が交付されている。</p> <p>本市は、2020年（令和2年）7月にSDGs未来都市に選定され、同年9月に富士市SDGs未来都市計画を策定し、2023年（令和5年）2月には計画期間を2023年（令和5年）から2025年（令和7年）とする富士市第2期SDGs未来都市計画（以下、当初の計画も含め「本計画」という。）を策定した。</p> <p>本計画は、本市独自の課題に応じたSDGsの重点項目を選定し、本市の特徴的な施策・事業を位置づけるなど、本市ならではの計画となっている。また、2022年（令和4年）3月には、計画に定められている本市のSDGs推進の基盤となる富士市SDGs共想・共創プラットフォームが発足し、地域活性化と新しい価値の創出を図り、持続可能な富士市をつくるための取組が進められている。</p> <p>さらに、第六次富士市総合計画においては、めざす都市像の実現に向けた基本姿勢としてSDGsの理念が導入され、また、本市の地方創生の方向性を定める第2期富士市まち・ひと・しごと創生総合戦略や各種個別計画についても、SDGsの理念や視点などが示されており、全庁挙げて取り組んでいくよう方向づけがされ、推進されている。</p> <p>そのような中、本年（2023年）は、SDGsの達成期限である2030年までの折り返しの年に当たり、残すところ7年と迫っていることから、本市においても、なお一層、SDGs</p>	市長 教育長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
9	佐野 智昭（18）	<p>に取り組むことの重要性や意義を浸透させ、2030年における目標達成、本計画の実現に向けて、市民・事業者・団体等とのパートナーシップによるオール富士市での取組を推進していくことが必要であると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 本市のSDGsの進捗状況について、以下を伺う。</p> <p>① 全国の自治体の中での本市のSDGsの達成状況はどうか。</p> <p>② 本計画に定めている2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲットに対するKPI（重要業績評価指標）の達成状況はどうか。</p> <p>(2) 庁内でのより積極的な取組を求め、以下を伺う。</p> <p>① 本計画には、各種個別計画にSDGsの理念や視点、取組など必要な要素を反映すると示されているが、具体的にどのように反映されているか。</p> <p>② SDGsの理念や経済・社会・環境の三側面、バックキャスト、相互の相乗効果やトレードオフなどの視点を踏まえ、新たに創出した事業、大きく変革した事業はあるか。</p> <p>③ 本計画に示されている自治体SDGsの推進に資する取組の環境側面、富士山及び駿河湾の自然環境の保全のうちの富士海岸の環境美化については、より具体的な取組が必要であると考えがどうか。</p> <p>④ SDGsの根本的な思想は、我が国、我が地域がよければよいという発想ではなく、貧困、不平等・格差、気候変動による影響など、世界の様々な問題を根本的に解決し、全ての人たちにとってよりよい世界をつくることであるということを踏まえ、世界の人々が置かれている現状の打開に向けた取組を実施する考えはあるか。</p> <p>(3) 富士市SDGs共想・共創プラットフォーム（以下、「プラットフォーム」という。）のより一層の推進を求め、以下を伺う。</p> <p>① プラットフォームパートナーを構成する、行動宣言者数、推進企業等登録数、SDGs応援団員数は、見込みどおりに増えているか。</p> <p>② プロジェクト登録数、F U J I 3 Sプロジェクトエッグ認定数、F U J I 3 Sプロジェクト認定数は、見込みどおりに増えているか。</p> <p>③ 現在までのプロジェクト及びF U J I 3 Sプロジェクトエッグの実施効果を、どのように捉えているか。</p> <p>④ プラットフォームの仕組みをより分かりやすく周知していく必要があると考えがどうか。</p> <p>(4) 市民等へのより確実なSDGsの周知、浸透を求め、以下を伺う。</p> <p>① SDGsに対して一人でも多くの市民が関心を持ち、自分事として考えていただくために、今後どのような周</p>	市長 教育長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
9	佐野 智昭（18）	<p>知・啓発のための取組を行っていくのか。</p> <p>② 次世代を担う子供たちが複雑な社会問題に向き合っていけるように、今後どのようなSDGsについての学びの取組を行っていくのか。</p>	市長 教育長 及び 担当部長